

平成 29 年吉日

関係各社 様
研究御担当者 様

横浜市立大学 NMR 装置群 (950MHz, 800MHz, 700MHz) の会員制民間共用のご案内

拝啓 貴社におかれましては益々ご繁栄のこととお慶び申し上げます。

本学鶴見キャンパスでは世界最高クラスの 950MHzNMR 装置と 800MHz 及び 700MHz の NMR 装置を民間企業の会員制共用装置としてご利用頂いております。950MHz 装置は通常のクライオプローブ付き溶液 NMR として世界最高クラスの感度を誇るだけでなく、フロー型クライオプローブ付き LC-NMR としても最高クラス感度での測定が行われており、また新設した CP-MAS プローブ付き固体 NMR としても世界最高クラス感度の測定が可能となりました。さらに最高 480 本の NMR 試料管オートサンプラー付き 800MHzNMR 装置と、通常の溶液測定や 60 本の NMR 試料管オートサンプラー自動測定や LC-NMR 測定が可能な 700MHzNMR 装置も民間企業共用装置としてご利用頂けます。

この機会に是非、本学の高磁場 NMR 装置群の会員制民間共用に参加されることをお勧めします。

共用装置として従来通りに広く企業等に供しますが、会員制民間共用の利用料金は割安になることをお含みおきください。

- | |
|--|
| <ul style="list-style-type: none">① 正会員／特例会員利用・・・年会費のお支払いによる包括利用② 非会員（成果占有・成果公開）利用・・・1日単位での利用料お支払いによる利用 |
|--|

ご質問等がありましたらメールや電話でお気軽にお問い合わせください。

敬具

横浜市立大学 学長補佐
西村 善文

〒230-0045 横浜市鶴見区末広町 1-7-29 A111 号室

e-mail: nisimura@tsurumi.yokohama-cu.ac.jp

電話：045-508-7211、FAX：045-508-7360

(正会員／特例会員ご参加のご案内)

横浜市立大学 NMR 装置群 (950MHz, 800MHz, 700MHz) の民間共用のご案内

横浜市立大学では NMR の装置の共用を一層促進するために、世界最高クラス感度の 950MHz の NMR 装置を始め 800MHz と 700MHz の NMR 装置を会員制の民間企業の共用装置としてご利用頂けます。例えば 950MHz の NMR 装置を実際に 1 企業で単独で購入すると、10 億円以上の初期投資に加え、維持費や高度技術者の人件費など年間数千万円の出費が必要になります。

その様な状況の中で世界最高レベルの感度を誇る 950MHz の NMR 装置を民間企業で共用するシステムを構築いたしましたので、皆様奮ってご参加の程、よろしく申し上げます。

なお、共用に当たっては、NMR 装置の最新の技術指導から、NMR 用試料調製法の指導、各企業現場からのリモート測定、あるいは最先端 NMR 手法の代行等 NMR に関するあらゆる要望に応じて企業の NMR 測定を全面的に支援します。

1) ご利用可能な施設

- 950MHzNMR: 溶液感度 12, 270 (0.1%EB) 世界最高クラス (1990 年 500MHz の感度の約 27 倍)、世界最高感度の LC-NMR 装置付き (測定例 0.03 μ g, 8 分: 旧 700MHzLC-NMR の感度約 100 倍)、世界最高感度クラスの固体 NMR 装置付き (1.3mm ϕ , CP-MAS 固体感度グリシン 125, 固体 500MHz の約 3 倍, 参考: 旧 900MHz 固体グリシン感度 108)
- 800MHzNMR: 480 本オートサンプラー付き自動測定のみ可能
- 700MHzNMR: 60 本オートサンプラー付き自動測定、LC-NMR 等可能

なお、ここで感度としている数字は標準物質の実測の NMR シグナルの感度であり、1990 年当時の最高レベルの 500MHz の NMR 装置は感度が 450 でその頃に比べて、950MHz の装置は約 27 倍も高感度です。

本民間共用の会員には、以下の支援が可能です。

- NMR 測定の代行
- 研究者の企業からのリモート操作
- 秘密保持契約による情報の非開示
- NMR 用標的タンパク質の生産から指導受託
- NMR 装置の最新の技術指導、及び利用者講習会の無料参加

2) 参加費用

・正会員年会費：1口500万円

年度内使用可能日数：950MHz相当分合計3週間(1日からの使用を認めます。ただし1週間は5日間ですが、長時間測定を土日にかけて行うことは可能で、その場合は7日間となります。950MHzNMR使用1週間分で800MHzNMRは1週間分+2日分使用、700MHzは2週間分使用が可能です。)

・特例会員年会費：1口200万円 (年度内使用可能日数：950MHz相当分合計1週間、1週間のカウント方法は上記と同じで、800MHzや700MHz使用に関しても上記と同じです。)

・保守費、維持費、測定補助、解析補助全て込み※

・その他、長期使用をご希望の場合の参加費は別途ご相談に応じます。

※950MHzの固体プローブを使用する場合、別途保守料金が必要となる場合があります。

3) 利用開始

申し込みは「公立大学法人横浜市立大学 NMR 装置群利用申込書」に必要事項を記載のうえ、下記窓口まで郵送ください。

4) NMR 装置の利用方法・技術指導研究員のサポートについて

正会員及び特例会員の企業様には NMR 装置利用の技術指導に加えて、NMR 測定の代行など全面的な支援を行います。

5) 窓口対応

横浜市立大学鶴見キャンパス西村研究室

〒230-0045 横浜市鶴見区末広町1-7-29

西村 (nisimura@tsurumi.yokohama-cu.ac.jp)

栗田、平尾 (nmropen@tsurumi.yokohama-cu.ac.jp)

6) 申し込み先

公立大学法人 横浜市立大学 研究推進部

研究基盤課 NMR 担当

〒236-0027 横浜市金沢区瀬戸 22-2

TEL:045-787-2078

FAX:045-787-2025

mail: kenkyu3@yokohama-cu.ac.jp

以上

(成果占有利用・成果公開利用のご案内)

横浜市立大学 NMR 装置群の民間共用（非会員）のご案内

平成 27 年度までは、文部科学省「先端研究基盤共用・プラットフォーム形成事業」の支援を受け、広範な分野における幅広い産業利用を促進し、人材育成を含めた NMR 技術の普及・発展を目指し、これまで NMR を利用したことがない利用者や利用分野も含めて広く皆様に使用していただいております。

民間共用（会員制）でのご案内と同様に、1 日単位からでも世界最高クラス感度の 950MHz の LC-NMR 装置（感度 12,270）、最大 480 本の NMR 試料管をセットできる 800MHz の自動測定 NMR 装置（感度 10,068）、700MHz LC-NMR（感度 7,975）、600MHz NMR（感度 7,733）、500MHz NMR（感度 6,146）の装置を皆様の利用に供しています。

具体的な手続きは、以下のフロー図をご覧くださいと思いますが、装置利用にあたっての注意事項等をご確認のうえ、「申込書」をご提出いただき、「承認書」を発行する、という流れとなります。

なお、ご利用開始の 2 週間前程度を目途に添付のお申込書の作成をお願いできれば幸いです。料金設定は次のとおりとなります。内容ご確認のうえ、お申込みいただければ幸甚に存じます。

利用装置	成果占有利用 (1 日あたり)	成果公開利用 (1 日あたり)
950 MHz	400,000 円	120,000 円
800 MHz	300,000 円	90,000 円
700 MHz	200,000 円	60,000 円
600 MHz	150,000 円	45,000 円
500 MHz	120,000 円	36,000 円

※950MHz の固体プローブを使用する場合、別途保守料金が必要となる場合があります。

*NMR 装置の利用方法・技術指導研究員のサポートについて

正会員及び特例会員の企業様には NMR 装置利用の技術指導に加えて、NMR 測定の代行など全面的な支援を行いますが、成果占有利用や成果公開利用の場合には、原則各企業様の研究員の方に本学の NMR 装置を使用し測定していただくことをお願いします。技術指導研究員の手が空いている範囲で、これまでの利用形態のようなご支援をさせて頂くことは可能かと思っておりますが、保障するものではありませんのであらかじめご了解の程、よろしくお願い致します。